

広島商船高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	工業英語
科目基礎情報					
科目番号	1953007		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	電子制御工学科		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	参考書: 六川 信 他「生きた科学英語」(朝日出版社)				
担当教員	成清 勝博, 梶原 和範, 大和田 寛, 酒池 耕平, 浜崎 淳, 綿崎 将大, 石橋 和葵, 峠 正範, 大高 洸輝, 吉田 哲哉				
到達目標					
(1) 理工系の学生が知っておくべき英語表現を覚える。 (2) 英文中から必要な情報を素早く拾い出す能力を養う。 (3) 英語による論文・資料を読むための読解力を身につける。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	英語の説明書や文献に対して、学習した英語表現を適用して文章を読むことができる。		理工系の学生が知っておくべき英語表現を覚えている。		理工系の学生が知っておくべき英語表現を覚えていない。
評価項目2	英文中から必要な情報を素早く拾い出すことができ、前後を含めて文章を理解することができる。		英文中から必要な情報を素早く拾い出すことができる。		英文中から必要な情報を素早く拾い出すことができない。
評価項目3	専門分野における英語の論文・資料を辞書を使って読むことができる。		データシートのように形の決まった英語の論文・資料を読むことができる。		英語による論文・資料を読むことができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	電子制御工学科の学生として、理工系の英語に慣れ親しんでもらうために、電気・電子の基礎的事項に関する英文を読むことで、専門分野に関する英語表現・語彙力を充実させ、さらには英語による論文・資料を読み解く力を身につける。				
授業の進め方・方法	(1) この授業の主眼は「読解」にある。学生は授業で日本語訳などの発表をおこなう機会がある。 (2) 事前の予習をしっかりとこなすこと (3) 語彙・表現などの暗記事項は授業で指示し、定期的に小テストか課題で確認をおこなう。 (4) 課題を支持した場合は必ず期限までに提出すること。				
注意点	(1) 教科書、辞書、ノート、配布したプリントを必ず持参すること。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1. ガイダンス	1-(1) シラバスを用いて、授業の進め方や課題への取り組み方を理解する。	
		2週	2. シーケンス制御	2-(1) シーケンス制御に使われる電気用図記号について英名を理解する。 2-(2) シーケンス制御記号について英名を理解する。	
		3週	2. シーケンス制御	2-(3) 制御機器を表す記号について英名を理解する。	
		4週	3. Technology and Society	3-(1) 技術と社会についての英文を基に、工業英語の文章表現を身につける。	
		5週	3. Technology and Society	3-(2) 技術的な専門用語を含む現代社会での課題に関する文献から、その内容理解と考えを深める。	
		6週	4. 電気工学基礎	4-(1) 英語で記述された電気回路の解法に関する説明が理解できる。 4-(2) 電気磁気学の諸現象や法則等に関する英文の説明が理解できる。 4-(3) 電気回路や電気磁気学の基本的な法則について英語で説明できる。	
		7週	5. Digital Multimeter	5-(1) 測定器の取扱いに関する英文を読み、和訳することができる。 5-(2) 和訳した文章を原文と比較し、既知の知識を基に間違いを訂正することができる。	
		8週	6. Environment and Energy	6-(1) 環境問題・エネルギー問題に関する話題を英語で理解する。	
	2ndQ	9週	6. Environment and Energy	6-(2) 英語の理解する中で、専門用語・英語特有の表現を取り上げて技術英語の特徴を理解する。	
		10週	7. 制御工学英語基礎	7-(1) 制御理論の専門英語基礎。	
		11週	7. 制御工学英語基礎	7-(2) フィードバック制御に関する専門英語を学習する。	
		12週	8. Information Technology	8-(1) スラッシュ読みの必要性が理解できる。	
		13週	8. Information Technology	8-(2) 文法を探りながら、予測しながら読む必要性が理解できる。	
		14週	9. 現在の先端的事例について	9-(1) 今日取りあげられる先端的事例について英語で理解する。	
		15週	9. 現在の先端的事例について	9-(2) 専門用語および科学的表現を身につける。	
		16週	10. 接着剤の取扱説明書	10-(1) 最新の接着剤について英語で理解する。 10-(2) 専門用語および科学的表現を身につける。	

評価割合							
	定期試験	小テスト	レポート	演習・課題	成果品・実技	その他	合計
総合評価割合	0	20	0	80	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	20	0	0	20
専門的能力	0	10	0	30	0	0	40
分野横断的能力	0	10	0	30	0	0	40